

寒冷の候、平素は児童館事業にご理解・協力誠にありがとうございます。

今年も残すところわずかとなりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

コロナ禍ではありましたが、交流事業も少しずつ実施出来るようになり、あちらこちらで賑やかな声が聞こえるようになり何だか嬉しくいすね。

さかのえがおワールドのエンディングを飾ってくれた嵯峨野レジャータの皆さんとは、

児童館での練習に職員と共に参加させていただき、改めて入の繋がりの大切さ、

あつたかさを感ずました。

年齢関係なく、同じ思いを持って、楽しみを共有し、何かを作り上げて

素敵だなあと感じました。この活動も長年続いており、アソビやアソビやアソビ

と笑いながら話が弾むのですが、そこに大きくなつた子ども達と一緒に参加して

くれていて、まさにビッグファミリーです。高校生や大学生が、親でも学校の先生

でもない大人とこんな話が出来ることもないのでは．．．と彼らが羨ましくもあ

りました。そんな地域での繋がり、彼らが大人になつた時に又数珠繋ぎされて

いくのだと思うと「嵯峨野レジャータすげいじゃん！」って思いませんか？

さて、春年も交流事業再開です！一月七日（土）はニューイヤーコンサート！

嵯峨野の歌姫、高田瑞希さんと北村あおいさんのお二人が新年早々素敵な歌

声を聞かせてくれますので、是非とも皆さん児童館にお越しください。

又一月二十一日（土）には、お話コンサートをさかのえも園さんのホールをお

借りして開催いたします。

子ども向け音楽ものがたり「まあちやんのおさんぽ」では、音や音楽は周りにあ

ふれていて私たちの世界を色鮮やかにしていることを体験して、みんなが一つの物

を作り上げる喜びを感じてもらいます。

大人向けの朗読と音楽では「少年の見た景色」．．．ボタニクで何でも手に

入る便利な時代、一方で失われてしまったものもあるのではないのでしょうか？一

人の少年のすつたもんだのお話を音楽と一緒にお届けします。

今までにないコンサートです！是非お見逃しなく！

そんな事業を楽しみにして頂いて．．．皆様良いお年をお迎えください

令和五年一月号の便りに添えて

社会福祉法人積慶園

京都市嵯峨野児童館 館長 飯吉昌子